

論点例

○これまでの四半世紀という長いスパンで見ると、我が国の経済社会構造には、以下のような様々な変化が見られる。こうした変化の中で、今後の税制を含めた諸制度を考えていくに当たり注目すべき変化は何か。

- ・ 人口構造の変化（生産年齢人口の減少、少子化など）
- ・ 経済・産業構造の変化（グローバル化、ICT化、サービス産業の比重増大など）
- ・ 家族の姿の変化（一人世帯・夫婦のみ世帯の増加、共働き世帯の増加など）
- ・ 働き方の変化（非正規雇用の増加、自営の多様化など）
- ・ 家計・再分配構造の変化（若年層の低所得化、高齢者層の経済力のばらつき、所得移転の偏りなど）
- ・ これらの変化に見られる地域間のばらつき

○上記のような経済社会構造の様々な面での変化をトータルとして捉えたとすれば、これまでの四半世紀の経済社会の構造変化の本質をどう捉えるべきか。

○経済社会構造の変化の本質を踏まえ、税制を含めた諸制度を考えていくにあたり、どのような社会のあり方を念頭に置くべきか。